

神奈川 山梨教会連合会報

かりん

先代先生に連れられて…

小島さんは現在五十九才で、七月に還暦を迎えられます。お母さんが熱心な信者さんであられたようですが、小島さんが大磯教会に参拝されるようになったのは、昭和五十七年の二十五才になってからだだったそうです。

「若い頃はサラリーマンで、転勤族でした。しかし、子供の小学校入学が近づいてくると、転勤ばかりでは可哀相と思うようになってきました。丁度その頃、実家の大磯の近くに土地が空いていると言うことで、家を建てることに決められたのですが、家を建てたに転勤では仕方がないので、思い切って地元の大磯教会に参拝したのです。」

★それからお参りするようになったのですか？

「母は熱心な大磯教会の信者で、私も母と一緒に参拝するようになりました。しかし当時の教会は、信者さんはお年寄りばかりで、同世代とも信心の話など話したいな、と思っていました。」

★ご年配のお話も良いですけど、やはり同

世代との懇談もしたいですよ。

それが、守次先生のおかげで話す場を頂いたので。私がお参りするようになる少し前に、先代菅原守次先生とみのり先生が、当時教師不在であった大磯教会に教会責任者として来られました。その頃守次先生は

まだ教師ではなかったのですが、「西部信徒会連合会（現連合会信徒部）」でも御用をされていたのですが、私を連れて行って下

川でスベって山でコロんで……とってきました

Interview

第13回 小島米夫さん(大磯教会)



さるのです。天地金乃神様と生神金光大神様の違いも解らない私が、解らないながらも後をついて行くのですが、私と同じ世代の方々もおられ、また先生方のご教導もあり、そこで信心の勉強をさせて頂いたように思います。」

★そういう場がある、というのは有り難いですね。

「守次先生は、私より十二、三歳上で、お兄さんの存在でした。守次先生に付いて行

って、本当に良かったと感じます。今思えば、丁度良いタイミングで出会いお世話になりと、おかげを頂いたのでしょうね。」

★信心の勉強のきっかけでもあり、また「連合会信徒部」での御用のきっかけにもなったのですね。

「最初の頃は、仕事の休みの融通も利いたので、ちよくちよく顔を出させて頂いたのですが、景気が悪くなり始めた頃から、なかなか休みが取れなくなってきて…。それでも、去年から「都合よくお休みが貰えますように」とお願いしていると、丁度連合会の時にお休みを貰えたりするようになりました。」

★連合会信徒部の御用も大変ですね。

「そんなに大変じゃないですよ。私の場合は、この信徒部でお世話になって成長させて頂いたようなものなので、今度は自分で何か役に立つなら」という思いで御用させて頂いています。また、金光新聞にあるベテラン信徒の方の話で「信徒会は出席するだけでも御用になる、と先生から言われ、それなら私でも」とこれまで御用にさせて頂いて来られました」と書かれていたのを読み、きばらなくて良いんだ、何か大きいことを考えずに、自分出来る御用を一生懸命させて頂ければ良いのだ、と言う思いで御用をさせて頂いています。」

(3頁中段に続きます)

これからの連合会に思う

私が、金光教学院に入学したのは今から三十年前の昭和五十一年の五月でした。翌年の四月に卒業して、六月に教師として補命頂き、本部教庁・教学研究所と本部で二年間御用をさせて頂き、昭和五十四年の四月に平塚教会へ戻り結婚をして一男二女に恵まれ、今日までおかげを受けて参りました。その間、子供の学費のこともあり、十年程外で仕事をさせて頂き、子供の卒業と共に仕事を辞め、昨年五月二十一日付けで、金光教平塚教会の会長に就任させて頂きました。十年間の空白を埋める為にもこれから連合会活動に協力して参りたいと思います。

さて、連合会活動についてですが、新しいものを始めようとすると必ず反対の意見が出る場合がありますが、これも貴重な意見と考えています。ある程度の賛同が得られれば、活動をして行っても良いと思っております。

そして、何年か先で反対していた人達にも理解されるようなものにして行けば良いと思います。教祖の教えに「先を楽しめ」というご理解があるように、何かを始めてそれを続けていけば、何時かは誰にでも理解して貰えるようになると思えます。先

(未来)が楽しみです。
一人での力の限界は、やはり、あると思

いますが、少ない人でも始めてしまい、年を追う毎に人が増え人が育つような活動をして行きたいと思えます。

布教部会の担当としては、これからの連合会活動について、新しい布教として「T布教」を考えて居ります。今の時代、小学生から大学生まで、そして社会人(サラリーマン)に至るまで、パソコンを扱える人が年々増えていきます。各教会にパソコンが置かれる日も近いと思えます。当面は、出来る教会を中心に進めて行き、各教会にパソコンが置かれるまで続けて行くことを願って居ります。

今や情報をどう扱うかが勝負と言っても過言ではないと思えます。教団の情報から教区の活動・連合会の活動・教会の活動まで、あらゆる情報が直ぐに手に入ります。その情報を基に連合会内の信奉者が活動して行くことになると思えます。その活動の中に、人が集い・人が育ち・交流が深まる所に意味があると思えます。

これを実現して行く上で大きな問題は、財と人の問題です。これも連合会活動の一つとして行く上で、各教会のご理解とご協力が必要になります。何時の時代でも布教は問題ですが、今までの布教ではもう限界があり、その時代時代にあった布教を考え、行く必要を感じて居ります。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い致します。

(金光教平塚教会長 奥 川 美智雄)

いかがですか？野草料理は

鎌倉教会 吉 岡 裕 子

野菜作りがこんなに難しいものとは知らなかった。かつては、野菜もお花も種を蒔けば芽が出てきたように思うのだが。

先日、春菊が簡単に育てられるとテレビで知り、早速その通りに上を準備し種を蒔いた。一週間もすれば芽が出てくるというのに我が家では、待てども待てども芽さえ出て来ない。しゃくに障って、ありあわせのプランターにありったけの種をばら蒔いた。しばらくしてポツポツとそれらしきものが出てきて、間もなくプランターいっぱいになった。それが喜びも束の間、ハコベであることが判明し、細やかな挑戦もまた失敗に終わった。でも、それはそれでよかったのだ。私にとっては、ハコベも貴重な食材の一つだから。という訳で、そのハコベをいただくことを楽しみにしつつ、成長を見守っているところである。

ハコベと言えば、まずはあの七草であろうか。何がなくともこれさえあればと言う感だ。ハコベがどつきり手に入ればリングゴと一緒にジュースにする。いたたく直前にレモン汁を二、三滴加えれば、濃厚で美味しい青汁の出来上がり。

一摘みほどのおひたしもうれしい。その上に柚子か菊の花びらか枸杞などを添えれ

全国信徒会

北四ブロック研修会開催

日時 六月三日(土) 十三時三十分～

四日(日) 十一時まで

場所 福島県耶麻郡猪苗代町字葉山七二〇五

「磐梯高原ホテル」

テーマ 「御神願成就の信心を進める」

講師 森 定斎・前金光教務総長

申込詳細については

金光教東北教区信徒会事務局

氏家敏行宛 ☎(三三)五七二一四六

教区教師集会

教祖伝「金光大神」をいただき、教会

長・教師のあるべき姿勢を求める。

日時 五月二十日(火) 十時三十分～

三十一日(水) 十一時三十分まで

場所 金光教館イーストホール、

ホテルフレンド

講師 安武秀信師(熊本県・大口教会長)

教団独立記念祭

日時 六月十一日(日) 午後一時三十分

場所 本部広前祭場

金光学園高校「春高バレー大会」

第37回全国高等学校バレーボール選抜優

勝大会に、岡山県代表で金光学園が出場し、

3月20日の一回戦には大阪の大商大に2対

1で勝ち、21日の二回戦では東京の東亜学

園に0対2で破れてしまった。

(1頁より続きます)
★今、信徒部で新たな企画をされているそ
うですね。

「私は教会の垣根を越えた『信徒部』で信
心の勉強をさせて頂いたのですが、そのよ
うに信者同士の横の繋がりが少しでも持て
るようにと、信徒部で今年地域集会の開
催を考えています。と言っても新たに行う
のは色々大変ですので、例えば第一回は鶴
見教会「恒例ビアパーティ(八月、十日)」に
便乗させて頂きます。どの切っ掛けのどん
な場面でおかけを頂くか解らないので、間
口を広く、皆さんが参加しやすい連合会と
あり、企画でありたいと考えています。」
★有り難うございました。

金光教首都圏参拝団

(首都圏フォーラム主催)

☆本部広前 教団独立記念祭

◎往路 六月十日(日) 東京 九時三十分発

ひかり三六七号にて

復路 十一日(日) 岡山十六時三十分発

ひかり三八二号にて、参加者募集中!!

☆本部広前 生神金光大神大祭

◎往路 十月七日(日) 東京 九時三十分発

ひかり三六七号にて

復路 八日(日) 岡山十六時三十分発

ひかり三八二号にて、計画を立てており

ます。詳細は、各教会にお尋ね下さい。

は、おしゃれで珍しいおもてなしの一品と
なる。お奨めは「ちらし鮎」だ。ご飯に柚
子とカニと黒ゴマを混ぜ、その上にイクラ
とハコベを散らし、すし酢をかけていただ
く。その他、青ものが欲しい時にもハコベ
があれば安心だ。と言う訳でブラントアの
ハコベは、春菊と同様に、これから我が家
の食卓を豊かにしてくれることであろう。
ハコベとヨモギは、自然の治癒力の王様
だと言う。路のとうも出てきて、私にとっ
ては、心さわく季節の到来である。

金光教神奈川 山梨教会連合会

女性のつどい

ボランティア活動のお話を聞いて

歌と手話で楽しい一日をノ

日時 六月二十九日(木) 十時

集合場所 JR「小田原駅」改札口

日程 10時～小田原市内散策後、

12時～小田原教会に会場を

移します。

(午後からの参加も可です)

講師 北川直敏氏

(鎌倉教会信徒)

参加費 無料

(昼食代として千円ほど)

ふるってご参加下さい

天地金乃神大祭日程

教会名	日	程
津久井	4月15日(土)	13時より
横浜西	4月16日(日)	13時30分より
甲府	4月16日(日)	13時30分より
南甲府	4月17日(月)	11時より
鎌倉	4月23日(日)	13時30分より
登戸	4月23日(日)	13時より
藤沢	4月24日(月)	13時30分より
川崎	4月29日(土)	13時より
大田	4月29日(土)	13時30分より
小田原	4月30日(日)	14時より
横須賀	5月3日(水)	13時30分より
丸子	5月3日(水)	13時より
相模原	5月3日(水)	14時より
生麦	5月5日(金)	13時より
子安	5月6日(土)	13時30分より
平塚	5月7日(日)	13時より
鶴見	5月11日(木)	13時より
大磯	5月14日(日)	13時より
野毛	5月20日(土)	13時30分より
神奈川	5月27日(土)	11時より
武蔵小杉	5月28日(日)	11時より

訂正記事

かりん17号1頁下段の表題「教主金光様のお言葉」は、「教務総長のお言葉」でした。お詫びして訂正致します。

三役会議

三月六日(月)丸子教会に於て、今年度の事業計画、平成十九年度の柱に於いての懇談が行われました。

教師会

二月十四日(火)県総合センターに於て、今年度の活動方法や方向付けについて懇談が行われました。

布教部会

二月十六日(木)横須賀教会に於て、①アンケート調査について ②社会活動に関する懇談会(6月18日鶴見教会) ③災害救済活動に関するデータベースについて懇談を行いました。三月十六日(木)藤沢教会に於て、前回の確認、具体化に向けて懇談が行われました。

信徒部

三月五日(日)神奈川教会に於て、①金光教を考える会報告書について ②教師信徒懇談会について(7月29日神奈川県民センター) ③地域交流会について(8月20日鶴見教会) ④少年少女全国大会参加アンケートについての懇談が行われました。

〈な・が・れ〉

縄文人の信仰と私たち

武蔵小杉教会 声 名 喜 一

梅原猛という人が、「現代人の心の深層に縄文人の信仰が色濃く残っている」という意味のことを言っていました。そう考えると、日本に渡来して来た仏教が仏教が本来の姿と大きく異なった日本仏教に変化していった理由も良く分かるようになります。

また、遠藤周作という小説家はお母さんがカトリック教徒ですので、いわば生まれた時から純粋のクリスチャンですが、彼の書いた小説からは、西洋的なカトリックの「香り」よりも、むしろ、日本的な「香り」が漂って来るように感じます。ひょっとすると、その「香り」は縄文人から受け継いだ「香り」かも知れません。

それとは気付いてはいませんが、おそらく金光教の信奉者である私たちも、深く縄文人の信仰に影響されているのではないのでしょうか。もしそうであるとすると、縄文人の信仰が現代の私たちに救いの手を差し伸べているのかも知れません。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 須賀院 明 徳

編集責任者 横山 光 雄

川崎市中原区小杉御殿町二一八二

〒211-0068 金光教武蔵小杉教会内